

➤ 当院の特徴

- ・他院治療後の難治性の不妊・不育症が多い（採卵周期の約25%がPOI）
- ・下記のような合併症不妊や生殖外科を要する症例も多く、妊娠後も継続して当院周産期センターで妊婦健診・分娩可能

	2025年度	2024年度	2023年度
ART臨床的妊娠率 (%)	37.2	39.8	41.0

当院での不妊治療を実施した主な合併症

悪性腫瘍：乳癌、子宮体癌、白血病、脳腫瘍、
子宮頸癌(広汎子宮頸部摘出術後)
卵巣腫瘍（卵巣がん術後など）

血液疾患：特発性血小板減少症（ITP）
抗リン脂質抗体症候群、ATⅢ欠損症
本態性血小板血症

自己免疫性疾患：SLE、シェーグレン症候群
関節リウマチ、皮膚筋炎

内分泌代謝疾患：糖尿病、糖原病Ⅰ型、甲状腺疾患
原発性アルドステロン症、高度肥満

婦人科疾患：帝王切開術後癒痕症候群、子宮内膜症、巨大子宮筋腫

構造異常：総排泄腔遺残、子宮奇形（子宮頸部無形成、単角子宮など）

AMHと採卵時 平均回収卵子数

AMH (ng/mL)	回収卵子数 (個)
-0.5	1.5
0.5-1	5.8
1-2	10.7
2-3	11.3
3-4	18.8

男性不妊治療

無精子症に対するmicro/simple TESE、精索静脈瘤術手術

➤ 妊孕性温存療法（悪性腫瘍、早発卵巣不全など）

代表的な原疾患

血液腫瘍：白血病、ホジキンリンパ腫

乳腺腫瘍：乳がん

骨軟部腫瘍：骨肉腫、Ewing肉腫

脳腫瘍：髄芽腫 神経芽種

胚細胞性腫瘍

泌尿器腫瘍：セミノーマ、胚細胞性腫瘍

消化器腫瘍：直腸癌、大腸癌

卵巣腫瘍：境界悪性/悪性 卵巣腫瘍

子宮体癌MPA治療

自己免疫性疾患：

全身性エリテマトーデス（SLE）

皮膚筋炎

など

	2025年度
精子凍結	16
精巣内精子回収術	1
卵子凍結	31
胚(受精卵)凍結	8
卵巣組織凍結 ※	0
卵子融解後胚移植	1

※ 医学的適応症例に対する卵巣組織凍結（2022年）：4 症例 2026年：1症例

➤ ゲノム治療（PGT, POC-NGS）

	2025年度
PGT-A/SR	31件
次世代シーケンサーを用いた流死産 絨毛・胎児組織染色体検査	44件